

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人愛広会	代表者	池田 弘	法人・事業所の特徴	リビングサポートとよさかは、サービス付き高齢者向け住宅「愛広苑式番館」との併設となっており、近隣の方々のご利用はもちろんです。愛広苑式番館に住みながらのご利用も可能です。同法人の病院や介護老人保健施設等との交流も深く、他職種との連携や情報交換も行っておりますので、より安心してお過ごし頂けます。皆様との出会いを大切に、気軽に立ち寄れる事業所を目指します。 (2022年03月)
事業所名	リビングサポートとよさか	管理者	和田 美恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員間での情報共有と、ご利用者・ご家族との情報共有をより密に行う。	・電話や送迎時等にもご家族と情報交換を行い、それを毎日のミーティングで確認・共有を行った。業務日誌や申し送りノートをしつかりと活用するようにした。	・コロナ禍であり、会議の開催が1回であった事やメンバーの入れ替わり等があった為、意見は頂きませんでした。会議毎の議事録やサービス評価の結果を配布しています。	・スタッフ全員の意見が反映されるよう皆で関わり、皆で意見が出し合えるような職場環境を作る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・コロナ禍である為、換気や消毒・アクリル板等の使用を徹底し、発生や蔓延防止に努める。	・コロナ禍である為、引き続き換気や消毒等を行っている。玄関突き当りに季節に合った貼絵やキャラクターを作成し飾った所好評であった。	・コロナ禍であり、会議の開催が1回であった事やメンバーの入れ替わり等があった為、意見は頂きませんでした。会議毎の議事録やサービス評価の結果を配布しています。	・感染症対策として、事業所内の清掃や消毒等を徹底して行い、発生や蔓延防止に更に努める。又コロナ禍ではあるが事業所内が明るい雰囲気になるよう活動や装飾に力を入れる。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域行事が開催される際には参加できるように、関係を途切れさせないよう連絡を取り合う。	・今年度はコロナの影響にて1度だけではあったが駅前植栽に参加させて頂き、地域の方と交流を図る事が出来た。	・コロナ禍であり、会議の開催が1回であった事やメンバーの入れ替わり等があった為、意見は頂きませんでした。会議毎の議事録やサービス評価の結果を配布しています。	・コロナ禍の為厳しい状況ではあるが、屋外行事や感染対策を取りながら参加できる物には積極的に参加させて頂く。又会議の開催や連絡時等に情報交換させて頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・ご家族の希望により、地域のサロン等をご紹介している。機会を作り職員も参加できるようにして行きたい。	・コロナ禍であった為、外出は控えさせて頂いていた。その分行事では外出気分を感じて頂ける事を行い、体を動かす活動レクの機会も増やした。	・コロナ禍であり、会議の開催が1回であった事やメンバーの入れ替わり等があった為、意見は頂きませんでした。会議毎の議事録やサービス評価の結果を配布しています。	・コロナウイルスの蔓延が落ち着き次第、ご利用者宅近隣へのドライブや行事等に参加させて頂く。コロナ禍であっても事業所内で楽しめる事を企画して行く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・会議メンバーに活動や状況を知って頂けるよう内容を考え報告し、写真等で具体的に伝えて行く。	・コロナ禍であった為、今年度の開催は1回となってしまったが、活動の報告や地域の活動について情報交換する事が出来た。	・コロナ禍であり、会議の開催が1回であった事やメンバーの入れ替わり等があった為、意見は頂きませんでした。会議毎の議事録やサービス評価の結果を配布しています。	・メンバーの入れ替わりや開催回数が少なく情報が乏しかった為、次年度は初心に戻り事業所の運営状況や地域の状況についての情報交換ができるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災訓練の案内を地域に行い、参加頂けるよう事前に連絡を入れ調整する。	・コロナ禍の為、地域の方を含めての防災訓練は開催できなかったが各種災害想定訓練を行った。	・コロナ禍であり、会議の開催が1回であった事やメンバーの入れ替わり等があった為、意見は頂きませんでした。会議毎の議事録やサービス評価の結果を配布しています。	・各種の災害想定訓練を実施する。マニュアルの改善、整備を行う。